

SERVICE NEWS



FUJI HEAVY INDUSTRIES LTD.

JCAB APPROVED

HEAD OFFICE ; SUBARU BLDG.
SHINJUKU, TOKYO, JAPAN

NO. 200-007 DATE 62.9.30

(SUPERSEDES NO.)

REV. DATE

(SUPERSEDES NO.)

REASON

FA-200 パーツ・カタログ及びサービス・マニュアル1部改訂について
(その2)

この度 FA-200 用 MAIN WHEEL ASSY が追加になりました。この追加に伴ない、FA-200 パーツ・カタログ及びサービス・マニュアルに変更が生じたので、その改訂内容をお知らせ致します。

適用パーツ・カタログ及びサービス・マニュアル毎に添付しましたので、下記添付要領にしたがって使用して下さい。

1. パーツ・カタログ

(添付パーツ・カタログ・ページ)

(1) SERVICE NEWS PAGE 2 4-20

2. サービス・マニュアル

(添付サービス・マニュアル・ページ)

(1) SERVICE NEWS PAGE 3 9-6

(2) SERVICE NEWS PAGE 4 追加

(3) SERVICE NEWS PAGE 5 9-7

AIRCRAFT DIVISION

1-11 YOUNAN 1 CHOME, UTSUNOMIYA TOCHIGI JAPAN 〒320
TEL 0286 (58) 1111 TELEX 3522 176

SERVICE NEWS

200-007

PAGE 1 OF 5



FIG & INDEX NO.	PART NO.	DESCRIPTION 1 2 3 4 5 6 7	UNITS PER ASS'Y	USABLE ON CODE
14-	9532522	WHEEL ASSY, MAIN LANDING GEAR..... (U. S. G. Y)	1	A
	9532522-1	WHEEL ASSY, MAIN LANDING GEAR	1	B
- 1	9524218	· SEAL, BEARING	2	
- 2	13889	· CONE, BEARING	2	
- 3	22FH-428	· NUT, SELF LOCKING	3	A
	42FLW-428	· NUT, SELF LOCKING	3	B
- 4	MS20002-4	· WASHER	3	
- 5	NAS144-23	· BOLT	3	
- 6	* MS20002C4	· WASHER, COUNTERSUNK	3	
	* 9525391	· PLATE, DATA ADHESIVE INBOARD	1	A
	* 5008252	· PLATE, DATA ADHESIVE INBOARD	1	B
	* 9525392	· PLATE, DATA ADHESIVE OUTBOARD	1	A
	* 5008253	· PLATE, DATA ADHESIVE OUTBOARD	1	B
- 7	9524201	· WHEEL SUBASSEMBLY, INBOARD	1	
- 8	13830	· CUP, BEARING	1	
- 9	MS20426DD6-6	· RIVET	3	
-10	9525059	· CLIP, DISC	3	
-11	9524318	· WHEEL SUBASSEMBLY, OUTBOARD	1	
-12	13830	· CUP, BEARING	1	
	* AN504-8R8	· SCREW	1	
	* 9524491	· CLIP, VALVE	1	
	* 9524877	KIT, WHEEL BALANCE WEIGHT..... (ORDER SEPARATELY)	1	
	* 9524876	· CLIP, BALANCE WEIGHT DISC.....	3	
	* 9524875	· DISC, BALANCE WEIGHT	1	
	* 9524858	· WEIGHT, LEAD BALANCE.....	2	
	* AN520-10-10	· SCREW, BALANCE WEIGHT.....	2	
	* NAS679A3W	· NUT, BALANCE WEIGHT	2	
		*NOT ILLUSTRATED		
		A.....FOR 9532522 WHEEL ASSY		
		B.....FOR 9532522-1 WHEEL ASSY		



注意

ベアリング、キャップはホイールに圧入されており交換の必要がないかぎり取りはずしてはならない。もしベアリング・キャップを交換する時はホイールを、ふっとうした湯に30分間ひたすか 149°C (300°F)以上にならないように加熱して取りはずす。

9-3-8 主車輪の洗滌および点検

- (1) すべての金属部品をドライ・クリーニング溶剤 (P-S-661) で洗滌しかわす。
- (2) ホイールに損傷およびクラックがないか点検する。もし鋳物にクラックおよび過度の腐食があるものは交換する。小さなかき傷やへこみは細かいサンドペーパー (#400) で仕上げる。表面処理がされている部分のはがれやかかるい腐食は十分に洗滌しジंकロを2回塗りアルミニウム・ラッカーを2回塗る。
- (3) ホイールのディスク・ドライブ両面の損傷および摩耗を点検する。もし歯先から 0.100IN のところの 0.070IN の厚さの部分で摩耗が3枚またはそれ以上ある場合はホイールを交換する。点検は下記の図のゲージを作り正確に寸法を点検する。

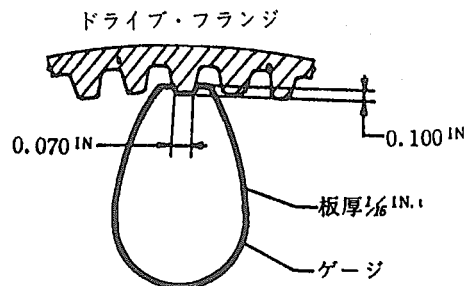
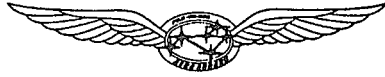


図9-4 ディスク・ドライブ歯面摩耗測定用ゲージ

- (4) ベアリング・キャップの損傷および摩耗を点検する。ベアリング・キャップは交換の必要が生じない限りホイールから取りはずしてはならない。
- (5) ベアリング・コーンをドライクリーニング溶剤で洗滌し損傷および摩耗を点検する。ベアリングに異状があれば新しいグリースを塗りキャップに再取り付けする。
- (6) ベアリングシールのシーリング作用に影響するかき傷、変形、および損傷について点検する。損傷部品は交換する。
- (7) ディスク・クリップの取り付け状態、クラックおよび腐食について点検する。必要に応じ交換する。

9-3-9 主車輪の組立 (図9-3参照)

- (1) チューブ挿入を容易にし、またチューブ保護のためタルカン・パウダーをタイヤ、ケースに散布する。
- (2) チューブをたたんでタイヤケース内に入れる。
- (3) チューブのバランス・マークをタイヤの赤い点に合わせる。バランス・マークがなければバルブを赤い点に合わせる。
- (4) バルブをバルブ孔から出し各ホイールのバランス・マークに合わせてホイールを組付ける。



(5) 以下の方法により、ホイール結合ボルトを締付ける。

a. 9532522 ホイールの場合

皿取りワッシャの皿取り面をボルト頭側に合せる。次にボルト頭がホイールの内舷側になるようにして、ボルトを差し込む。

ナット側にはプレーン・ワッシャを1枚使用し、ナットを取付ける。

最初に 30 IN-LBS のトルクで 3 本のナットを締め、次に 60 IN-LBS のトルクで 3 本のナットを締め付けた後、83 IN-LBS のトルクで 3 個のナットを締め付ける。

b. 9532522-1 ホイールの場合

ボルトのネジ部、ボルト頭のワッシャとの接触面、セルフロックナット、皿取りワッシャ及びプレーン・ワッシャに MIL-T-5544 アンチ・シーズ・コンパウンドを塗った後、9532522 ホイールと同じ要領でナットを締め付ける。

注 意

9532522 ホイールに、42FLW-428 ナットを使用する場合は、9532522

-1 ホイールのボルト締付要領に従って締付作業を行うこと。



- (6) 空気を入れたり、出したりして、チューブのしわをとりタイヤの縁にしっかりととめた後、規定の空気圧を注入する。

9-3-10 主脚緩衝支柱の分解 (図9-5参照)

次の手順は機体から取りはずされた緩衝支柱について述べる。

(ホイール、脚柱カバー、およびフェアリングの取りはずしは前項手順による。)

- (1) エア・バルブ・キャップ(1)をはずしコア(2)より空気を完全に抜く。
- (2) エア・バルブ・ボディ(3)をプラグ(6)より取りはずす。
- (3) スナップ・リング(5)を取りはずしストoppa(8)、プラグおよび ϕ 0 ϕ リング(7)を取りはずす。
- (4) オリフィスチューブ(9)を抜き出す。
- (5) オイルを排出する。
- (6) トルクニー(17)を取りはずす。
- (7) ピストン(16)とソケット(28)、ボルト(29)を取りはずし分離する。
- (8) ピストンをシリンダ上部側から引き出す。
- (9) シリンダ下部のスナップリング(15)をはずしアダプタ(13)およびスクレイパ・リング(14)を取りはずす。
- (10) ϕ 0 ϕ リング(10)およびオイル・パッド(11)をシリンダ内面よりはずす。

9-3-11 主脚緩衝支柱の組立

- (1) 全ての部品を洗滌し過度の摩耗および損傷を点検する。欠陥部品があれば交換する。また ϕ 0 ϕ リングは新しい部品と交換する。
- (2) ϕ 0 ϕ リングおよびオイル・パッドをシリンダ内面に取り付ける。
- (3) シリンダ下部にスクレイパリングおよびアダプタをスナップリングで取り付ける。
- (4) ピストンをシリンダ上部より挿入する。
- (5) ピストンとソケットをボルトで取り付ける。締付トルク270~300 IN-LBS
- (6) トルクニーを取り付ける。
- (7) オリフィスチューブを取り付ける。
- (8) 3-2-12項に指示された方法により注油する。
- (9) ϕ 0 ϕ リング、ストoppa、およびプラグをスナップリングで取り付ける。
- (10) プラグに ϕ 0 ϕ リングおよびバルブ・ボディを取り付ける。
- (11) エアーを3-2-12項により入れバルブキャップを取り付ける。

9-4 前脚 (図9-6参照)

9-4-1 前脚取りはずし、取り付け

- (1) エンジンカウリング上部を取りはずす。
- (2) 次のいずれかの方法で前脚を地面からはなす。